

令和8年度 うし学講座 第一講



新発見 牛は道具を使えます

日時：令和8年7月5日（日）午前10時30分～

会場：牛の博物館

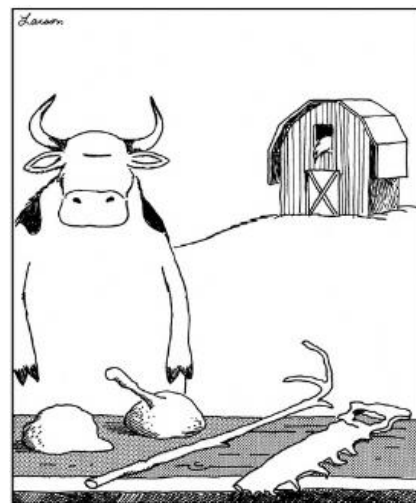
定員：30名（事前申込制）

講師：牛の博物館 館長 麻生 ^{あそう} ^{ひさし} 久（東北大学名誉教授）



動物における「道具の使用」とは、一般的に「自分の体の一部ではない外部の物体を操作することで、環境に物理的な変化を与え、目的を達成する行動」と定義されています。手があるチンパンジーとラッコは道具を使うのは有名ですが、手がないカラスや魚類でも道具を使えます。

漫画家ゲイリー・ラーソンが、「牛には道具を使う知性がない」ことを前提に「Cow tools（牛の道具）」と題した絵を1982年に発表しました。ところが、ブラウンスイス種の雌ウシが、その前提を根底から覆し、牛がこれまで考えられていたよりもはるかに高い認知能力をもつ可能性を示し、道具を使っているという新発見となりました。今回はこの発見の証明方法を説明します。皆さんの身近にも気付かれていない新発見が隠れていますので、動物好きの皆さんの参加をお待ちしております。



Cow tools
漫画家ゲイリー・ラーソン作(1982年)

* 講座はオンライン動画配信を予定しています。下記 URL または QR コードよりご視聴ください。視聴は事前申込不要ですが、パソコン・スマートフォン等へのビデオ通信サービス「zoom」のインストールが必要となります。

<https://us02web.zoom.us/j/84910530967?pwd=K1smyPZ4PaabEgEAfEyb6Du6mVYRib.1>

聴講無料
事前申込



QRコード

The Cattle Museum
牛の博物館



〒029-4205 岩手県奥州市前沢字南陣場 103-1

TEL：0197-56-7666 FAX：0197-56-6264

URL：<https://www.city.oshu.iwate.jp/section/ushi/>

* 現地聴講をご希望の方は、7月4日（土）までに
牛の博物館（0197-56-7666）へお申し込みください